

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

定点当たり10.78人の報告があり、前週と比べて増加しました。夏休みやお盆に帰省等で、高齢の方と会う機会や大人数で集まる機会が増えてきます。感染予防を心がけましょう。

【参考】新型コロナウイルス感染症の感染予防のために(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/264771.html>



2 ヘルパンギーナ

定点当たり3.46人の報告がありました。前週と比べてやや減少しましたが、多い状況が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

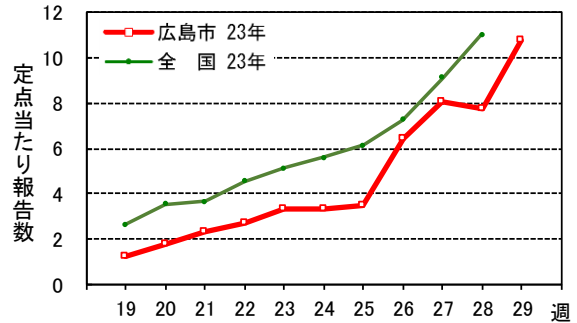
3 エムポックス

1件の報告がありました。広島県内で初めての報告となります。(次ページ参照)

4 レジオネラ症

4件の報告があり、今年の累計は22件(昨年同時期20件)となりました。レジオネラ症は、河川や土壌など自然界に生息するレジオネラ属菌による感染症で、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい水のしぶき)などを吸入することで感染します。屋外作業中に、舞い上がった土ぼこりを吸い込んで感染することもあるため、必要に応じてマスクを着用しましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	増減				
												急増減	増減			
インフル	インフルエンザ	47	1.31	-	↗	小児科	ヘルパンギーナ	83	3.46	0.79	↘	急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減		
	新型コロナ(COVID-19)	388	10.78	-	↗		流行性耳下腺炎	-	-	0.11	↘	増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減		
小児科	RSウイルス感染症	32	1.33	2.95	↘	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	↘	微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減		
	咽頭結膜熱	10	0.42	0.39	↘		流行性角結膜炎	4	0.50	0.60	↘	横ばい	↔	ほとんど増減なし		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	1.71	1.13	↘		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	↘	報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。	インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)		36
	感染性胃腸炎	98	4.08	3.17	↘			無菌性髄膜炎	1	0.14	0.06	↘		小児科定点数	24	
	水痘	6	0.25	0.17	↘	マイコプラズマ肺炎		-	-	0.06	↘	眼科定点数		8		
	手足口病	26	1.08	3.21	↘	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		-	-	-	↘	基幹定点数		7		
	伝染性紅斑	-	-	0.05	↘	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	↘	(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)					
	突発性発しん	6	0.25	0.24	↘											

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	69	10歳未満、90歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	11	30歳代・O157
4	エムポックス	1	1	30歳代
4	レジオネラ症	4	22	50歳代・市外・1人、60歳代・2人、70歳代・1人
5	梅毒	15	167	20歳代・4人、30歳代・6人、40歳代・4人、50歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	(COVID-19) 新型コロナウイルス	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎	
報告数	広島市	第25週	44	125	55	9	85	113	2	17	-	3	51	1	-	7	-	1	-	-	-
		第26週	34	231	71	5	74	116	2	17	-	6	67	2	-	3	-	-	-	-	-
		第27週	26	290	57	9	55	110	5	18	-	3	90	-	-	2	-	1	-	-	-
		第28週	40	279	44	11	71	111	2	27	-	6	97	-	-	3	-	-	-	-	-
	第29週	47	388	32	10	41	98	6	26	-	6	83	-	-	4	-	1	-	-	-	
定点当たり	広島市	第25週	1.22	3.47	2.29	0.38	3.54	4.71	0.08	0.71	-	0.13	2.13	0.04	-	0.88	-	0.14	-	-	-
		第26週	0.94	6.42	2.96	0.21	3.08	4.83	0.08	0.71	-	0.25	2.79	0.08	-	0.38	-	-	-	-	-
		第27週	0.72	8.06	2.38	0.38	2.29	4.58	0.21	0.75	-	0.13	3.75	-	-	0.25	-	0.14	-	-	-
		第28週	1.11	7.75	1.83	0.46	2.96	4.63	0.08	1.13	-	0.25	4.04	-	-	0.38	-	-	-	-	-
	第29週	1.31	10.78	1.33	0.42	1.71	4.08	0.25	1.08	-	0.25	3.46	-	-	0.50	-	0.14	-	-	-	
全国	第27週	1.66	9.14	3.38	0.52	1.53	4.14	0.12	1.07	0.02	0.28	7.33	0.07	0.01	0.44	0.01	0.04	0.03	-	-	-
	第28週	1.76	11.04	3.16	0.55	1.45	3.90	0.10	1.21	0.02	0.28	6.86	0.09	0.01	0.43	0.01	0.05	0.03	-	0.01	

【参考】エムボックス※について

※2023年5月26日に「サル痘」から「エムボックス」に感染症法上の名称が変更されました。

エムボックスは、エムボックスウイルスによる急性発疹性疾患で、国内では感染症法上の4類感染症に指定されています。従来はアフリカで流行していましたが、2022年5月以降、従前のエムボックス流行国への海外渡航歴のない患者が世界各地で報告されています。

国内では2022年7月25日に1例目が報告され、その後散発的に報告されていましたが、2023年に入り患者の報告数が増加しました(2023年7月21日時点で国内193例)。

エムボックスを疑う症状があった場合は、最寄りの保健センターや医療機関に相談してください。なお、医療機関を受診する際には、マスクの着用や発疹部位をガーゼなどで覆う等の対策をした上で受診してください。

【主な感染経路】

- ・感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合(性的接触を含む)
- ・患者と近くで対面し、長時間飛沫にさらされた場合
- ・患者が使用した寝具等に触れた場合
(現時点で、空気感染を起こした事例は確認されていません。)

【潜伏期間】

- ・通常7～14日(短い場合5日、長い場合21日のこともあります。)

【主な症状】

- ・発疹、発熱、倦怠感、リンパ節の腫れなど。多くの場合、2～4週間で自然軽快しますが、小児や妊婦、免疫不全の方などは重症化に注意が必要です。

【参考】エムボックスに関するQ&A(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/monkeypox_qa.html



【参考】各区保健センター連絡先(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease-iryō/239.html>



新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30～18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp